

令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	美術
----	----

学年	1年
----	----

1 学習の目的

◆基礎的なものの見方や描き方、また、社会との関わりとしてのデザインの基礎を学ぶ。鑑賞においては、作家の作品と仲間の作品を味わい、中1以降の美術への感心を深められるよう学習する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい	知 技	思 判	学 向
2 学 期	◆カーデザイン	●水彩色鉛筆の使い方、表現効果を理解し、オリジナルカーのイラストレーションを仕上げることができる。	○		○
	◆張り子にチャレンジ	●張り子の作り方を理解し、色彩の鮮やかな動物作品を作ることができる。	○		○
		●仲間の作品を鑑賞し、良さを見つけ出すことができる。		○	○

3 評価規準、評価方法

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・石粉粘土の特性や表現効果を理解しているとともに、制作に係る技能を身に着けている。 ・使用する工具の安全な使い方を身に着けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・プリント ・自己評価カード ・作品制作の進め方
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の作品の良さや美しさと同時に、疑問点も見つけ出し、その回答を自分なりに考えて鑑賞を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞レポート ・自己評価カード
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間からのアドバイスや意見に耳を傾け、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物（提出物） ・授業での様子 ・発表 ・進んで授業に取り組んでいる ・作品制作の進め方

令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教 科	美 術
-----	-----

学 年	2 年
-----	-----

1 学習の目的

- ・芸術家の作品鑑賞や表現方法に接することによって、自分の制作での表現方法の幅を広げることにつなげる。
- ・カッターを安全に使用して色彩豊かな紙のレリーフ作品を仕上げることにより、紙の持つ利便性や柔軟性に気づき、

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい	知 技	思 判	学 向
2 学 期	◆スクラップブック	<ul style="list-style-type: none"> ●写真のコラージュの技法を学び、材料を工夫して写真を引き立てるスクラップブックを作ることができる。 ●仲間の作品を鑑賞し、良さを見つけ出すことができる。 ●完成した自分の作品を客観的に見て評価でき 	○	○	○
				○	○
					○

◆ぬりえにチャレンジ	る。			
	<p>●水彩色鉛筆の特性を理解し、色彩豊かな塗り絵作品を仕上げることができる。</p> <p>●仲間の作品を鑑賞し、良さを見つけ出すことができる。</p>	○		○
			○	○

3 評価規準、評価方法

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・石粉粘土の特性や表現効果を理解している ともに、制作に係る技能を身に着けている。 ・使用する工具の安全な使い方を身に着けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・プリント ・自己評価カード ・作品制作の進め方
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の作品の良さや美しさと同時に、疑問点も見つけ出し、その回答を自分なりに考えて鑑賞を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞レポート ・自己評価カード
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間からのアドバイスや意見に耳を傾け、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物（提出物） ・授業での様子 ・発表 ・進んで授業に取り組んでいる

		・作品制作の進め方
--	--	-----------

令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	美術
----	----

学年	3年
----	----

1 学習の目的

<p>◆2年間の経験をもとに、一人の人間としての自己をより深く見つめて表現することを、自らの表現や芸術家の作品鑑賞や表現方法（たとえば抽象的表現など）に接することによって学ぶ。</p>
--

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい	知 技	思 判	学 向
2 学 期	◆あったらいいこんな商 品	<p>●商品開発の視点に立ち、アイデアグッズの広告を効果的に完成させることができる。</p> <p>●仲間の作品を鑑賞し、良さを見つけ出すことができる。</p>	○	○	○

3 評価規準、評価方法

	評価規準	評価材料
--	------	------

<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石粉粘土の特性や表現効果を理解しているとともに、制作に係る技能を身に着けている。 ・使用する工具の安全な使い方を身に着けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・プリント ・自己評価カード ・作品制作の進め方
<p>思考・判断・ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作家の作品の良さや美しさと同時に、疑問点も見つけ出し、その回答を自分なりに考えて鑑賞を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞レポート ・自己評価カード
<p>学びに向かう 姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間からのアドバイスや意見に耳を傾け、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物（提出物） ・授業での様子 ・発表 ・進んで授業に取り組んでいる ・作品制作の進め方